

2 一般会計・特別会計実質収支

(単位：千円)

区分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 C (A-B)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 E (C-D)	うち地方 自治法第 233条の2 の規定に による基金 繰入額
				継続費 通次 繰越額	繰 越 明許費 繰越額	事 故 繰越し 繰越額	計 D		
一般会計	871,326,745	862,153,686	9,173,059	-	2,646,260	62,768	2,709,028	6,464,031	6,364,031
特別会員	競輪事業	39,079,935	38,928,779	151,156	-	-	-	151,156	-
	卸売市場事業	1,474,322	1,474,322	0	-	-	-	0	-
	国民健康保険事業	120,861,460	120,751,877	109,583	-	-	-	109,583	-
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	430,564	165,595	264,969	-	-	-	264,969	-
	後期高齢者 医療事業	22,779,399	22,707,052	72,347	-	-	-	72,347	-
	公害健康被害 補償事業	177,687	54,742	122,945	-	-	-	122,945	-
	介護保険事業	112,701,720	111,518,418	1,183,302	-	-	-	1,183,302	-
会計	港湾整備事業	8,675,001	6,129,258	2,545,743	-	496,452	-	496,452	2,049,291
	勤労者福祉 共済事業	105,741	105,740	1	-	-	-	1	-
	墓地整備事業	530,019	388,809	141,210	-	-	-	141,210	-
	生田緑地 ゴルフ場事業	506,181	458,719	47,462	-	1,353	-	1,353	46,109
計	公共用地先行 取得等事業	194,909	194,909	0	-	-	-	0	-
	公債管理	181,505,136	181,505,136	0	-	-	-	0	-

実質収支 形式収支（歳入歳出差引額）から翌年度繰越事業費等に充当されるべき財源を差し引いた実際の当年度の
収支を明らかにするものである。